

新収蔵品

2025 年

6.23 (月)

8.2 (土)

「美人画」再読

— 麗しい人の系譜 —



池田蕉園『ゆふぼえ』20世紀初頭 絹本着色



清原雪信『菊慈童図』17世紀後半 絹本着色

開館時間 10:30～17:00

休館日 日曜日

観覧料 無料

会場 実践女子大学香雪記念資料館
企画展示室1・2

主催 実践女子大学香雪記念資料館

実践女子大学香雪記念資料館

Kosetsu Memorial Museum Jissen Women's University

一般に「美人画」と言ったときには、若い女性を描いた絵のことを思い浮かべるのではないのでしょうか。そうした「美人画」が一般化するのには 20 世紀に入ってからでした。江戸時代には中国の教養ある「文人」を理想とし、それを女性にもあてはめ、書物を読み書画を楽しむ女性の姿を中国風の「唐美人」や日本の女性として描き、鑑賞しました。

近代になると西洋文化の影響のもとに、容貌や若さが「美人」の条件とみなされるようになります。男女の性別役割分担によって、女性は受動的な存在とされ、絵画でも頼りなげな女性や愛らしい女兒の姿が好まれるようになりました。ただし逆に、こうした主題が女性にふさわしいとされたことから、池田蕉園や栗原玉葉ら女性画家たちが積極的に描き、活躍の場を得ました。

美しい人は女性ばかりではありません。古くは《菊慈童》といった少年を鑑賞する主題がありました。また西洋美術の基本は人体の正確な表現でしたが、西洋でも当初は女性が成人男性を描くことは一般的ではないなか、洋画家の岡村政子は少年たちの身体を群像として表わしました。高畠華宵は健康な身体に少女のような大きな瞳や長いまつげを持つ少年たちを描いて人気を博しました。

美しい人の基準も、それを表現する方法も様々で、そのジェンダーも一つではありません。本展では、美人を“美しい人”と読み替えて、その歴史と多様性について考える機会とします。

【アクセス】

JR／東京メトロ／東急／京王「渋谷駅」東口から徒歩約 10 分
東京メトロ「表参道駅」B1 出口から徒歩約 12 分

※当館は、実践女子大学渋谷キャンパスの 1 階ロビー奥に位置します。駐車場・駐輪場はありません。ご来館の際は公共の交通機関をご利用ください。また、六本木通り沿いにある正面入口右手の警備室へ入館の旨をお伝えください。
※やむを得ず会期や開館時間を変更する場合がございます。最新情報は当館ホームページをご確認ください。



HP <http://www.jissen.ac.jp/kosetsu/>
〒150-8538 東京都渋谷区東 1-1-49
実践女子大学渋谷キャンパス 1 階

実践女子大学香雪記念資料館

Kosetsu Memorial Museum Jissen Women's University



1



2



3



4



正解された方には館内受付にてオリジナルグッズをお渡します。ぜひお知らせください。
(数量限定)

描かれている人物を数えてみよう！

1. 寺崎広業《唐美人》明治 30 年代 絹本着色
2. 栗原玉葉《童女図》大正時代 絹本着色
3. 池田輝方《待乳山》大正時代 絹本着色
4. 岡村政子《忠臣義士》明治 24 (1891) 年頃 石版・紙
5. 河邊青蘭《態濃意遠》明治 22 (1889) 年 絹本着色
6. 奥原晴湖《百福図》明治 23 (1890) 年 絹本着色

※すべて実践女子大学香雪記念資料館所蔵
5 以外は新収蔵品

【同時開催】

下田歌子記念室
「所蔵品による特集展示Ⅰ」

〈会期〉

2025 年 7 月 5 日(土)～8 月 2 日(土)

